

第64回市民ふれあいトーク 【一緒に考えるこのまちの地域力】

日時 平成27年11月29日 13:30~15:00

場所 倉敷公民館

要約版

市長

もうすぐ12月という押し迫った中、日曜日午後のお忙しい時間に市民ふれあいトークにご参加いただきまして誠にありがとうございます。今日は第64回市民ふれあいトークでございます。各地区の公民館をずっと中学校区でありますとか、回らせていただいているなか、久しぶりにこの倉敷公民館での開催ということになりました。

前回確かみらい公園のオープン直前ぐらいだったのではないのでしょうか。4年ぐらい経ちますけれど、その時は結構みらい公園、アウトレット、アリオができるので車がどうなるかとか、人の流れがどうなるのかなど、皆さんから不安と、一方では人が来るんじゃないかという期待と両方ともご意見を頂いたように覚えています。4年経ちまして倉敷の人も多く来てくださるようになってきているかと思っておりますので、今日は3時までの1時間半位の時間でございますけれど、どうぞよろしく願いできればと思っております。

では最初5分か10分位最近の市政の状況などを私の方から報告させていただき、それから意見交換という形にさせていただければと思っております。そういえば、昨日はフリーのフィギュアの倉敷市出身、田中刑事君が総合第5位ということでよかったなと思っております。勿論羽生さんが優勝したのは素晴らしいんですけど、また高橋大輔君に続いて、地元の倉敷芸科大の田中刑事君が素晴らしい場所で大きな活躍をしてくれて本当によかったなと思っております。

さて先ほどお話を申し上げましたみらい公園のオープン、アウトレット、アリオのオープン、美観地区におきましての林源十郎商店さんのオープンや奈良萬の小路のオープン、倉敷物語館のオープン、地元の皆様が大変お世話になり進んできております電線類の地中化、道路の美装化の工事など、この数年間の間に多くのことが市内の中で、特にこの倉敷地区で動いてきていると思っております。この数年の特に美観地区伝統的建造物群保存地区では、以前より多くの方が来てくださるようになってきたと思えますし、この本町通りをはじめとします倉敷川の川畔の所の通りだけではなく、地域の1本中の通りの方に人が来てくださったり、新しいお店がオープンしたり、倉敷庭園さん、有鄰庵さんもオープンしたりということで、地元の皆様のご協力により、こういうことが進んできていると思っております。そして一步広げてみますと、この間寿町の踏切の拡幅の工事をさせていただき、まだ懸案の倉敷駅の高架が進んでおりませんが大変申し訳ないんですが、それが進むまでの間に駅の寿町の踏切、先日も新聞の方に出ましたけれど駅の東の区画整理事業地の地権者の皆様とおかげさまで合意が整い、今から大体1年ぐらいの間に、あちらの方の区画整理事業が完了するというような段取りになりまして、徐々に何とか進んできているということじゃないかと思っております。

この美観地区の中で最近のトピックスとして一番大きいのは、来年の5月にサミットのG7倉敷教育大臣会合がこの地で開催をされるということになり、今年私が市長として最も力を入れたことの一つでございます。誘致活動には3日3晩寝ずに申請書を書きまして何度も文科省の方に申請をし実現できました。まだまだ市民の皆様の中でもサミットのことを、最近徐々に新聞に出るようになってきましたけれど、ご存知の方はまだ少ないん

じゃないか、来年に向けてPRをしていきたいと思っております。

先日の10月9日から11日の間に日本女性会議2015倉敷大会がございまして、全国から約2千数百名の方がこの倉敷のまちの中心部にお越しになられました。その時に地域の皆様に変にお世話になりました。環境の皆さんには事前に地域の皆さんと一緒にごみを拾って環境衛生の活動をしていただいたり、商店街の皆さんにはお花を飾って頂いたり本当にお世話になりました。全国の方も帰られる時に口々に言われたのは、今まで行った女性会議の中でとにかく一番良かったと言ってくださいました。会議も良かったけれど、町のこと、おもてなしをしてくださるピンク色のTシャツを着てボランティアの皆さんが本当に協力していただいたんですけれど、ボランティアの皆さんの協力、活動の中での倉敷のまちの中の様子というものに非常に感銘を受けられたということがありましたので、これを全国に持って帰られて言ってくださると思います。

それから倉敷が今全国に結構PRできておりますのは、子育ての部分結構あると思います。子育てするなら倉敷でということで、施策を皆さんと一生懸命に進めてきておりますけれど、実は昨年から私が地方創生のまち・ひと・しごと有識者会議のメンバーになっており、お声がかかりまして大体1~2カ月に一回くらい官邸で会議に参加させていただいております。たまにテレビで見られた方もいらっしゃるかもしれませんが、倉敷市の子育て支援のことについて発表したりもしているんです。そこで国が言われるのは、倉敷市は合計特殊出生率が非常に上がっていると。ほんの数年前ぐらいまでは1.4とか1.5の前半だったんですが、今実は最新の発表では1.63ということになりました。それでこの1.63という数字が実は非常に高いんですけれども、全国平均が1.42。岡山県の平均が1.49ということで、岡山市さんは1.4某というふうに伺っております。倉敷市ではここ数年子育て環境が皆さんのご協力、そして市が保育園を新設をしましたり、学童保育の受け入れの数を増やしたりということで増えてきてございまして、1.63ということで、おかげさまで人口も増えてきております。国の統計で言えば大体2、3年ぐらい前に人口が減る予定でしたけれども、今大体48万3千人ですけれども、まだまだ増えております。何とかあと数年ぐらいはこの人口減少社会の中で、もうちょっと増えていけるかなと思っており、それを一生懸命皆さんと一緒に、人口が増えていくためには子どもさんが生まれていただくことと、もう一つ大きなことは皆さんが元気で長生きをしていただくこの二つがございまして。この二つの政策に頑張っていきたいと思っております。

今年は真備、船穂との合併10周年でございまして。この新しく真備町、船穂町に向けた橋があと2カ月ほどで完成をいたします。真備、船穂が倉敷に合併をします時に、とにかく橋をかけてもらいたいということで川辺橋と船穂橋が非常に混むということで、その間の橋ということでイオンの少し西の方から北側に向けて橋をかけておりますけれども、それが1月24日に開通をする予定になりました。1月24日日曜日の午前10時から道路として開通をいたしまして、1月23日前日の日に開通式典を午前中にしまして、歩いて渡り初めを午後から予定をいたしております。広報紙の方で歩いて渡る方も募集をいたしておりますので、興味がある方はぜひお願いできればと思っております。倉敷市が高梁川にかける初めての橋です。名前を公募し、600件近く色んなお名前を頂きましたので、市建設局の方で審査をして、大変ど真ん中な名前が恐縮ですが、「倉敷大橋」ということになりました。色々皆さんからご意見を頂き、水江と水江を結ぶんで水江大橋とか、マスカット橋とか、たけのこ橋とか、いろいろご意見を頂いたんですけれど、これから50年、

100年使う橋ですのであんまり不思議な感じのものでもいけないかなというのと、もう一つは倉敷市が川辺橋，船穂橋，高梁川大橋は，国とか県が架けました橋で，倉敷市が高梁川にかける橋としては初めての橋でございます。スペースがないので多分最後の橋で，倉敷市の橋の中で最大の橋になります。川の部分の端の所が大体500メートル近くということで，皆さんにずっと使っていただける橋ということで倉敷大橋ということになりましたので，ぜひ通っていただければと思います。

では今日色々皆さんの方からご意見を頂ければ。ここ数年来の倉敷の中心部の町のあり方が色々変化していること，もっと広く地方創生についてどうでしょうか，子育て支援とかはどうでしょうかとか，色んなご意見を頂き，意見交換をさせていただければと思っておりますので，よろしくお願い致します。

参加者 A さん

先程の倉敷大橋の件，ちょっとこれだけ先にお聞きしたいんですけども，私も応募した一人で，結果報告というんですか，そういうのがまだ何もないんですけども，応募した方にそういうのをお知らせするような，私は外れている方なんですけれども，何かあるのでしょうか。

市長

一つにはこれで市民の皆さんにご報告するのと，一応建設局の方にはご応募いただいた方にはがきでお知らせをしてもらおうように頼んだんですが，まだちょっとできていない。

参加者 A さん

届いていない。本題ですけど，さっきも市長さんが言われたように，電線地中化とか，ハード面はほぼ終了したような形でありがたいことですけども，今まで住んでいる人がいたからこそ，美観地区として住宅が残っている，建物が残っていると考えているんですけど，最近では市の方も観光の方に力を入れられ，どんどん来てくださと言われるような状況になっているわけですが，人かな，車もちょっと道が狭いので，元々を通りづらい所もあるんですが，観光の方がたくさん来られることによって，最近の人の数からいくと結構道そのものが飽和状態というか，人が道の真ん中を歩かれているという状況が，特に土日とか祭日とかシーズン中はそれが定常化してしまっていて，住んでいる人からするとやかましい。はっきり言って，迷惑。高齢者も多くなっている地域なんです。若い人がほとんど住んでいない状況なんですけど，元々静かなまちで静かに住んでいてというふうな環境でずっと住まれた方が多いわけです。それが最近になって急激に観光の人が増えて，外国人の方が多いいせいもあるのか，結構やかましいというか。

それと高齢の方が出て行かれた後はたいてい商店，お店になっているんですね。そうなることによって観光の方がそういう所に集中して結構来られるというか，その林源十郎とか整備されたせいもあって，結構人の通りが増えています。私が限られた所のこの辺りの住んでいる所だけの話をしていますので，他の所はちょっと別にしておいていただきたいんですけども，そう状況なので市の方が考えられている観光をどんどんやって地域振興をやるよというのと，住んでいる住民に対する配慮とか，そういうのがもう少しあった方が良いような感じが致します。観光の人を増やすのであれば，面積をちょっと広げて分散

するような形で増えることはいいことだなあとと思います。

市長

今お話しいただきましたように、今倉敷市もそうでありますように全国的に観光客の方、特に外国の方が非常に増えてきているというのもあると思いますし、また倉敷市としましても水島コンビナートもございますけど、大きな地域の産業として観光ということにも力を入れてきているということで、その中で美観地区は絶対にはずせないと言いますか、倉敷市の一番の観光地ということで、どのメディアにも出てくるということになりますので、以前よりは人が多くなってきているということはやはりあると思います。一方でそれに伴いまして、お住まいになっていらっしゃる方の今お話しされましたような、これまで静かだった所が、本町通りの所が前はほとんど歩いていなかったような時期もありまして、それが今や土日になると観光ということで、人がたくさん来られるようになりまして、一方で前とずいぶん状況が変わってきたということがあるかと、今お話しされるとおりだと思います。

今言っていたいただきました観光の範囲を広げるというところが、すごく大切なところだと思っております。勿論、例えば住まわれている方がいらっしゃるので、平安を妨げないよということとは色々な面で市の方からもPRを頑張りたいと思っておりますし、それからここだけに集中しないように、特に駅の北、それからこの美観地区、美観地区ももっと商店街さんの方へ人が行っていただけるように、市としては美観地区もそうですけれども商店街としても商店街の方に人がもっと来てもらえるようになれば、人も少し分散されるようになるんじゃないかと思っておりますので、少しでも一地域だけに人が集中しないように頑張っていきたいと思っております。住民の方のご不便のところもよく分かりますし、一方で倉敷のまちの為に観光の発展にご協力いただきたいという面もございますので、是非今後ともご協力いただきたいと思っております。ありがとうございます。なるべく多くの色々な倉敷だけじゃなくて、児島とか玉島の昭和の街にも行ってもらえるように頑張りたいと思っております。

参加者Bさん

今の方のお話しにも関係する話ですけど、私は東町の伝建地区に住んでいるんですけど、Aさんとほぼ同意見です。ただ、私たちが活動をやればやるほど人がたくさん来るという状況は矛盾を感じているんですけど、倉敷のこの美観地区は人が増えているのは、住民と市が共同でやった電線の地中化です。林源十郎が出来たからではありません。

今日はこのまちの地域力ということで、人がその地域力の最たるものだと思います。私たちはもう3つ地域力があるということです。景観的な地域力、それから文化の地域力、そして歴史の地域力。この価値を上げることが地域力だと思っております。その中で私たちの活動は、美観地区だけではなくて周辺の景観の保全もやっているということで、六次総計画では美観地区などの歴史的な景観を保全ができて、全体として魅力的な景観を維持しているというような理念として目指すまちの姿が書かれている。そこで現状と課題で市民と団体、行政が連携して取り組むということも書いておりますし、適正な制度を活用し実施することが必要だと書いています。計画を実施するために行政がニーズを的確に対応

し施策を見直し、P D C A サイクルでやるということ。これはがんばっているからこそ、ここまで来ました。だが、私たちが活動をやっていて大きな壁があります。それが何かというと伝建地区の周辺、これをさらに良好な景観をつくるために実は色んな障害があります。特に法律です。現行の都市計画法、建築基準法、消防法では今の町並みが保全できない、伝建地区周辺が。ということになっています。その先ほど言った六次総合計画の中で、ふさわしい適切な制度を活用してもできないわけです。条例がないと。この条例をどのようなものにするかということ真剣に考えていただきたいと思います。伝建地区だけが残って周辺が全部平成もしくはこれからの景観になっていいのか、それは私は都市の記憶喪失の状況になるというふうに考えています。江戸、明治だけあって大正、昭和がないわけです。平成になると、そういうふうになりかねない、今の状況では。そこで条例をつくっていただきたい。伝統的な建築物、それは19世紀の歴史的なものだけでなく、文化庁はもうすでに20世紀の資産を残そうというふうに考えています。20世紀の資産というと大正、昭和です。こういうものをきっちり残す。伝建地区の周辺には中心市街地が相当たくさんあります。私たちは市と一緒にそこの調査もやりました。600以上残っています。これが今、今日も多分どこかなくなっています。どんどんなくなっています。残すのに建築基準法と都市計画法があるが為に残せない状況になっていますので、京都がそれに先駆けて伝統的建築物の保存の条例をつくっています。特別に伝建地区じゃなくても、そういうのを残せるということをいち早くやらないと間に合いません。何年前かに調べた時に残っているものの10分の1がなくなったとして、そうすると10年でなくなってしまうんです。地域力が上がりません。先ほどの観光客も伝建地区だけに集中するようになります。ということがないように町を残したいという意味で条例を至急に手を付けていただきたいと思います。

市長

はい、ありがとうございました。建築基準法と都市計画法の観点では今のままでは困るということですね。今まだ建設局の方で調べている段階なので、すぐに条例ができるところまでいってないんですが、今言われましたように課題は伝建地区だけが残るということになると、より人も集中するし、またその隣は近代的な建物ということになっても、本当の形からは外れていると思いますので、建設局の方が検討してくれているのははっぱをかけて頑張ります。京都が進んでいるんですね。よく参考にします。確かに京都は元々進んでいますので、頑張りたいと思います。最初に電線の地中化をお申し上げるべきだったと思います。本当に住民の皆さんに協力をいただいて、国でも法律が住民の皆さんと一緒にやっていただいて国の法律ができて、電線を地中化することを推進ということになっていますので、そちらの方も今後、あともう少し延長する予定ですけど、頑張りたいと思っています。

参加者Cさん

私も伝建地区に住んでいるものです。スマホとか携帯が普及する前は地図がよく分からなくて場所とかをよく聞かれていたんですけど、携帯とかスマホが普及するとあまり聞かれなくなったんですけど、この1年間で美観地区は何処ですかとか、観光ホテルは何処ですかとか、路地にいっぱいお店ができたせいもあると思うんですけど、地図を持たれてい

ても場所が分からないんですね。うちの周辺はてくてくマップに載っていないお店とか住民が住んでいない家とか、地図に載っていないのでご自分がどこにいるのかが分からない状況みたいで、現在位置が分かる看板が立てられないという条例があると思うんですけど、現在地が分かる、ここは何処ですよという、北とか南も分からないですから地図を見ても分からないと思うんですね。マップには行きたいところは載っていると思うんですけど、ちょっと外れた川沿いではない中側の芸文館に近い場所だと迷って駅は何処ですかとか、市の観光バスのところは何処ですかとか、大原美術館は何処ですかとか、ちょっと分からない。標識ではないですけど、今いるのはここですよとか現在地が分かる看板か何か景観を損なわないようなものがあれば、路地にいっぱいお店ができていますので、皆さん困られているようで、コンベンションビューローの方でお聞きすると、やっぱり行ってスマホを見れば良いと思って迷子になる方が多くなりましたとは言われていました。

あと、金曜日に市役所に行ったんですけど、駐車場がなくてずっと回って、満車と書いていただけたら引き返したんですけど、入り込んでしまったら身動きが取れなくなって、結局帰りました。満車と書いていただけのようなシステムはないんでしょうか。

市長

私もびっくりしたんですけど、この前の金曜日、なぜかものすごく混んでいて市役所の車も入れなかったんで、何であんなに混んでいたのかなと思ったんですけど、初めてあんなに混んでいたと思います。何であんなに混んでいたのか、私もちょっと調べてみなければと思っていたんですが。

それで今おっしゃっていただいたどこか分からないというのが、国内の方もこれから来年にかけて、それからもっとあとにかけて外国の方が自分がどこにいるのかが分からないというのが、そう簡単にスマホに載っているわけじゃないので、聞かれる方がますます増えてくるんじゃないかと思っておりまして、それで看板をなかなか付けられないということもありますので、今まずやろうと準備しておりますのが、てくてくマップをもっと改良したりしてですね、外国の方にももうちょっと分かりやすいようにして、特に来年のサミットに向けて、皆さん来られているみたいで、一番聞かれるのがしゃべりかけられてもパッと、みんな英語ができたらいいんですけど、そう簡単にはできないかも知れない、そうしたら皆さんどこかへ行きたい、大原ミュージアムだったら、それを言われたらその地図を示して、「You are here」とか「ここにいる。」とか言えば、それを見て行ってもらえるんじゃないかと思うんで、そういうのを分かりやすいように、当面、来年のサミットに向けて、それからオリンピックに向けてやっていきたいと思っています。それが当然外人の人にも分かりやすいということは、日本人の方にも分かりやすいようにしないといけないと思っておりまして、まず一つにはそういうようなものをやりたいと思っていますのと、それから今言われたように標識などの見直しをもう1回、すぐ半年とかでできるわけじゃないんですが、標識とかの見直しをもう1回しまして、なるべく来られる方に分かりやすいようなまちづくりを心掛けていきたいと思っています。どうもありがとうございます。

参加者Dさん

美観地区は世間的に発信しとるし観光客の方もよく来られるんですけど、僕は毎日5時、6時、7時ごろ朝歩くんです。確かに美観地区は人も多いし、そこそこ観光ガイドにも出ている。先ほど誰かも言いましたけれども商店街の方には人が流れない。問題は折角市長さんが力を入れて造られたみらい公園がさほど活用されていない。イベントがあるとき、何カ月に1回、最近では菊花展とかね。またみらい公園の何周年記念とかイベントがある時には確かに人が集まるんですけど、観光客の人が駅に降りた時に北側の方に全く行こうとしない。僕は聞かれたんですけど、北には何かあるんですかと。みらい公園のガイドがないわけです。こっちに行くともみらい公園という倉敷が力を入れている素晴らしい公園があるんだと、若い人のアウトレットの店とか、アリオのショッピングできる。地元の人結構使っているというか知っているわけです。県外とか外国の人が来た場合は、北へ全く行こうとしない。それは残念だと思うんですよ。将来北から南にかけて道路が付くのか、橋が付くのか分かりませんが、それまでに手を打てることもあるんじゃないかと、そんなにお金をかけなくても、折角美観地区、倉敷に来てくれたお客さんに多少倉敷のPRも兼ねてこういう素晴らしい公園があるんだと。市民の人は結構朝晩散歩していると思います。日曜日には子供連れで若いお母さんが来られているんですけど、あれも市民だけの為じゃなくて折角南北一体の橋をするのであれば、多少北の方のPRもされてはどうでしょうか。

市長

はい、ありがとうございます。みらい公園ができて4年ぐらいになりますけれども、公園としては一義的には地元の皆さんに日頃使っていただきたいということが大きなものでございまして、そのところは今言ってくださったようにお散歩していただいたりとか、それからまちの景観という意味では活用していただいているのではないかと思います。イベントとかが少ないというところですかね。今主には地域資源のフェアとか、環境の観点の分とか、行なっていることが多いんですけど、県外から来られる方にこれは市の公園だということをもうちょっとPR出来れば良いかもしれないですね。結構町の視察とかで他の市町村から市議会議員さんが来られた時に、勿論美観地区の視察にも来られるんですけど、倉敷は駅の北に非常に緑が多くて景観が駅の前でも緑が豊かな場所をちゃんと保持しているところに、評価して下さる方が結構多いので、そういう面をもうちょっとPRするように頑張ります。それからもっと賑わうようにということですね。ありがとうございます。

参加者Eさん

住んでいるのは玉島です。育ったのは倉敷の西中学区なのでこの近くです。倉敷には非常に良い観光がたくさんあるんですが、大山記念館とか倉敷を代表されるような方の記念館、星野仙一さんの記念館があったり、そういうものが倉敷にはあるんですが、言ってみれば意識の中で相当古い感じが僕の中ではしています。人間自体が・・・、大山さんなんかは僕の小さいころには見に行ったりしていますけど、最近そこに人が集まっているのかなというのがあります。そういう倉敷出身の方の何か有名になって頑張ってくれたような方の記念館のようなものが出来ないものかなと。先ほど出ました高橋大輔くんなんかはもう世界へ発信できるような人材だろうと思うんです。彼の足跡をどこか倉敷の生ま

れ育ったところに。今まで倉敷から健闘されてきたので、一応現役を引退された以上は何かそういう形で残していただくような形で、美観地区ではなくても、その周辺にそういう物があれば、ファンの方は相当全国にいらっしゃるようなので倉敷へ「高橋大輔くんの故郷なら行ってみたい。」というような、記念館とかブームが出来たらなともものすごく思っています。

市長

どうもありがとうございました。大山記念館の事を引き合いに出していただきまして…、今玉島にお住まいですか？ちょっと市のPRが足らなかったかもしれませんが、実はこの前の三連休、11月の21、22、23と将棋の大きな行事がございまして、普通だったら大山名人杯の倉敷藤花戦があったんですけど、加えて今回は全国の方たちに倉敷の将棋を紹介する「将棋の日」というイベントがございまして、一応将棋連盟と協力してPRをしたんですけど、すいませんあまり玉島の方までPRできてなかったかもしれないんですが。実は結構県内外から市民会館の大ホールがいっぱいになるくらい来られまして、NHKの公開収録があったもんですから、今度の12月27日の教育テレビで、ちょっと時間は覚えてないんですが、将棋の日の1時間番組でやってくださるみたいで。谷川名人をはじめとして将棋連盟の重鎮の方とか若手棋士が結構いらっしゃいまして、その方たちに聞きましたら、「倉敷」と言えば「大山名人の出身地」だと言われるんですよ。今の王将に郷田真隆さんと言う方がおられるんですけど、郷田さんははじめて倉敷に来られましたと、でも大山名人の出身地だという事は知っていましたと。で、来てみて凄く良い所なんでまた来たいと思いますし、それから倉敷の事を聞かれたらまたPRしますと言ってくれたりとか、またその方は金田一耕助のファンで、真備の行事とかに非常に興味を持ってくれたりとかなんで、まあ、大山名人記念館に来られる方の数というのはそんなに多くは無いんですけど、こういう行事によって大きくPR出来ることもありますし、それから日ごろからの来訪者の方もいらっしゃるのかなと思っています。

それから、今高橋大輔選手の事を言うていただきまして、ありがとうございます。まあ大輔さん一番の聖地と言えば、ヘルスピアのリンクじゃあないかなと思いますし、割と見学とかがあるみたいでございまして。で、現状は倉敷芸術科学大学の持ち物になっていますので、まあ、あの本人のご意向もあるので、まだ色々可能性もあれされてますので、記念館みたいにするると完全に引退みたいになってますのでね。そういう物をPRするときにはご本人と芸科大さんと相談しながらやっていきたいと思っています。大輔くんは紛れもなく倉敷の大切な宝物です。それから続く方として田中刑事くんも出てきてくれますので、しっかりPRしていきたいと思います。

参加者Fさん

美観地区に関連することでお尋ねします。私は岡山の後樂園でボランティアガイドを週に1回やっているんですけど、そこから美観地区に行きたい、あるいは鷲羽山に行きたいという方がかなりいらっしゃるんですよ、水曜日の午前中だけでもね。その中で気が付いたのが、後樂園や岡山城の観光施設のところに、美観地区やあるいは鷲羽山のパンフレットが一つもないんです。だから、行政の枠を乗り越えて相互乗り入れを、で、逆に美観地区に岡山城をPR出来るような一角をおいていただければ、だいぶ違ってくるという

のと、それからもう一つ、1月のしょっぱなの日曜日に写真撮影のグループの会を催したんですけれども、2年ぐらい前から休みの日は倉敷市役所の駐車場から、リムジンバスを・・・(市長：リムジンほど立派じゃないですけど、シャトルバスです。)運行しています。そうしてみますとね、現場に行ってちょっと聞いてみました。そしたらですね、30分に1回しかシャトルバスが動いていない。それから地元の人もこういうことをやっていることを知らないと。それで一方ではズラッと長く駐車場待ちという形。もっともっとPRして、もう2年経つんだから何か分析して、定着してパンフレットに織り込むとか、そういう風なことをやっていただければ、先ほど言っていたような場所が分からないという風なことが少しでも解消するのかなと思います。それから鷺羽山につきましてはですね、倉敷市のせっきくの宝ですから美観地区だけじゃなくて、もっと利便性その他良さを何らかの形で発信していただけたらと思います。

市長

ありがとうございました。結構痛いところを突かれました。後楽園は岡山市、そして県の管轄であり、鷺羽山は倉敷市、まあ国の管轄で倉敷市の地域です。後楽園の方から言えばなるべく自分のところに長くいてもらいたいので、あまりほかのところのパンフレットは置いていないんですね。倉敷市としては、岡山後楽園のパンフレットを、まあ置いてもいいかなとは思いますが、どちらかという、美観地区にこられる方には玉島とか、児島の鷺羽山とかジーンズストリートに行ってもらいたい思いがありまして、今のところあまり岡山市の事はPRしていないのが現状でございます。最初に言えばよかったんですけど、ひとつには倉敷市のもう一つ大きなミッションと言いますか仕事というのがありまして、それは今この地方創生で、倉敷市は人口が増えていますけど、他の都市はほとんど人口が減っています。それに伴って産業も斜向になるようなところもありますので、この倉敷市に加えて高梁川も、備中地域、高梁川流域の経済発展にもしっかり取り組んでいかないといけないということがありまして、この3月に新見、高梁、総社、浅口、矢掛、井原、笠岡、里庄、早島そして倉敷と、この7市3町で協定を結びました。これは両方の議会が締結して結んだものですから、非常に重いものですね。それで倉敷市は高梁や浅口や総社のPRをします。でも岡山とは提携を結んでいないんです。それはなぜならば、今のこの現状の人口減少の考えから言いますと、倉敷市はどちらかという岡山県の西半分の担当ですと。岡山市は東半分の担当ですと。まあ担当というわけでもありませんが。どっちかという積極的にこの西半分の人に来ていないところにも行ってもらえるようにすれば、倉敷だけじゃなくて高梁とか、備中松山城とか 新見の満奇洞とか、例えば井原の美星町の天文台に行ってもらったら、観光の時間も伸びます。そうすれば泊まってもらえるのは泊まる場所が中々ないんで倉敷に泊まるでしょうと。岡山の後楽園を案内すると、多分岡山に泊まるでしょうという事などもありまして、今の倉敷市の方針としてはあまり積極的にはしてありませんが、ただ対外的にPRをするときには、とにかく岡山県に人が来てくださいますと言ったときには、紛れもなくこの美観地区と鷺羽山、後楽園と言うのは一緒に外に対してはPRをしています。岡山市の様子も聞いてみようかとは思いますが、もちろん仲が悪いわけではないんですが、まず第1には地元地域、備中高梁川地域の発展を考えたいなと思っています。それともう一つシャトルバスのことですけども、まだまだPRが足りないという事でございます。一応2年ほど社会実験といえますか状況を見ている

ようなところもありまして、結構乗っていただいていると伺っておりますので、地元の方にも知っていただけるように取り組んでいきたいと思えます。

参加者 G さん

今インバウンドの観光セミナーを普段からしていただいているので、インバウンドというのは海外からの観光客の方をどう呼び込むかとか広域連携をするかということで、各地区の、新見から始まって、井原と笠岡と総社と全部の会場に参加させてもらって、講義の先生は同じことをしゃべられましたけど、お聞きしました。そのことは東京オリンピックが決まったとき、それから市長さんが熱心に要望されてサミットの教育大臣会合が開かれることが分かってからも、本当に最近海外のお客が多いことを思ってみても、やっぱりもっと広域連携、今言われたように岡山倉敷のテリトリーがあると思えますけど、もっと大きな地球規模になって、来年はディスティネーションキャンペーンの本番に入ります。なので、さっきの E さんは同じ活動の仲間なんですけど、一枚看板、たくさんゆかりの方が岡山県倉敷市におられます。だけでも倉敷と言えばという、知名度も高く、活躍もされた、市民も誇りに思っておられるような国際観光大使のような存在、ウエルカムアンバサダーのようなね・・・、あの B さんも さんも静かな暮らしをお求めだと思います、住んでいらっしゃるから。だけど美観地区という立地にとっては、来られるというね、日本全国、それから世界のガイドブックにもものすごく掲載率が上がっているんですね。さっき C さんおっしゃったけど、街でいっぱい出てくマップを持って自分が今どこにいるのか判らない、行きたいところ今日泊まるホテルに行けないと困って立ち止まっている方がたくさんいらっしゃいます。こちらから「何かお探ですか、どこへ行かれますか」と必ずお声をかけるようにしています。あの地図はとても良くできているんだけど、今いる場所と行きたいところが分かりづらい。

(市長：なんで分かりづらいんでしょうねえ。私は結構良いマップだと思うんですけど。)
(道がまっすぐでないから。京都みたいに南北じゃないから・・・)

それはもう町の成り立ちなので・・・、あれがあったら手掛かりにはなるんですね。だから私はいつも赤いペンを持っていて「今ここにおられますよ。」「行かれますホテルはここですよ。」「こういう風にかかると一番早い道かな」ってご案内をさせてもらってますけど、私は倉敷の中心市街地にたくさんの方が住んでおられる。観光案内ガイドさんもいっぱいおられる、お店もいっぱいある。そしてその方たちが親切に教えて差し上げれば、手元に地図があれば、私は地域力は人力(ひとぢから)だと思っているので、それぞれ皆さん方ご自分がやっておられるジャンルについては熱く語られて熱心だと思いますけれど、回遊性を増すと言う事に関しては、本当に地元に出会った方がちょっと何か困っているなと思ったら対応してあげればと思います。一つは一枚看板になれる方、うめ吉さんが女性のたった一人の観光大使なんですけれど、日本女性会議をなさった倉敷市ならば、やっぱり男性の観光大使もおられてもいいんじゃないですかね。天領太鼓の山部くんなども候補だと思いますし、高橋大輔さんも大きな候補だと思いますので、来年に向けてご検討ください。

市長

はい、ありがとうございました。観光大使をもっと増やしていった方がいいんじゃないかなというお話をいただきました。確かに方向性としては、その方向かなと思っております。どういう風に広げていこうか今検討しておりますので、また検討したいと思っております。あのおもてなしも、住まれている方をはじめとして、皆さんで頑張っていたいておりますので、ありがとうございます。

参加者Hさん

粒江小学校区から来ました。4年前の帯江のトークの時にも市長さんをお願いしたことがあるんですが、覚えていらっしゃると思うんですけど、水の問題ですね。この町の地域力が上がるという事はそれぞれの市民が気持ちよく生活できるという事で、粒江の地区は高梁川の水を、今から315年前に倉敷村とか近辺の地区の皆さんが寄って集まって決めたことが履行されていないんです。それで粒江の小学校区の方は、この前市の耕地課の方で調べましたら、大正5年から用水のお金を取るとという。水をやらずしてお金を取るとという。それで平成14年(2014年?)、今年はまだですけど去年ですね。粒江全体で120万円、20何万円の33ヘクタールくらいですか、33万平方メートルくらいですけど、そこに一滴も水は貰ってないのに水代は20数万円を市の方が取っている。それは誰が取っているのか私も見てはおらんのでわからないんですが、まあ市役所関連にお金が入っているのではなかろうかと思うんですけど。まあ金の問題よりかは、水がものすごく汚いんですね。粒江地区は調整区域であり下水道も入っていないから夏場になったらものすごい水になるんです。そういうことについて市役所の周りだけとか、今さっきの美観地区の周りだけきれいになったら、倉敷市は優れた土地であるということになるのか。粒江いうたら市役所から見える範囲にあるところですよ。中学校区は同じような区域なんです。そういう身近なところがものすごい取り残されているんですが、市長さんその取り残されとるんは誰のせいになるんでしょうか。住んでおる者の責任になるんでしょうか、それとも市長さんになるのか。もう一つ、100年間大正5年から昭和が90年ですから100年間お金を払ったんです。そのうち、1割にあたる10年間は市長さんが在籍されておるんですから、ひとつ責任を感じて早急に解決してもらいたい。それですね、その水を粒江にやらないのなら、水の権利を美観地区へ持って行ってあげたら、美観地区も水を貰っていないと思う。美観地区は新田用水をちょっと取ったら、また元へ帰しようのようなことで、あそこへ九州の柳川のようにどんどんどん水を流したら、観光客の人も今以上に親しんでもらえるし、それから、本当に由緒ある倉敷じゃなという事になりますし、両面で倉敷市長さんの鋭意決断をお願いします。

市長

はい、ありがとうございました。粒江の水の問題ですね。水の問題って非常に難しいものがあるってことは一番良くご存じだと思いますけど、高梁川の酒津のところから分水をしまして、それぞれの用水で決まりごとがあって流れておりまして、それでそれぞれの持ち分のお金を払っていただくことが発生して…。決して市が取っているわけではないんですけど、それぞれの用水の管理のところですので市も手伝ってますけど、市が直接水の管理してののではないですので、とにかく良く調べてみますけれども、あの、水が汚いと

言われましたけれども、まあ吉岡川の水について県の方に常日頃からもっとしっかり管理して欲しいしておりますし、市の方で出来ることは今後ともやって行こうと思っておりますが、なかなかちょっとすいません、Hさんの回答にすぐ答えられる状況にはないので。ただ、粒江の事でいつもご心配戴いているということは良く承知しておりますので、地元の土木委員さん、地域の皆さんと良く相談をさせていただければと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(Hさん：そのお金は高梁川東西用水組合に入っとるんですが、その東西用水組合の管理者は誰ですか？)

私です。でも、市役所の仕事ではないです。東西用水組合がここから水を分けておりますので、おっしゃる通り、これをどこからどこへ分けるのかという事は昔から決まっているのはおっしゃる通りですが。ちょっと粒江の土木委員さんに聞いてみます。

参加者Iさん

倉敷在住3年8か月目になります、Iと申します。緊張しますのでちょっと原稿を書いたので読まさせていただきます。先日アイビススクエアの方で、前の鳥取県知事で総務大臣でも務められた片山善博先生がおいでになられました。鳥取県出身なので私が、久しぶりにお話を伺おうと思っていってまいりました。その時に『地産地消』には2つあるとお話をされました。一つは地元で作ったものを地元で消費する「地産地消」。もう一つが地元の人たちが地元にあるものをその価値に気づかずに消してしまう「地産地消」。地元が消す、大変もったいないことだと思いました。せっかく地域に素晴らしいものがあるなら、やはりまずそれに気づいて、何か問題があるなら地域のみんで解決策を考えて、大事に育てていくのが大切だと思います。やはり「気づく」というのがスタートだと思います。あの、先ほどからお話が出ております美観地区なんかですね、私は倉敷に引っ越す前から、住んでいらっしゃる方は大変かと思いましたが、私は本当に来る前から楽しみでして、すぐに訪ねました。歴史的な街並みとか立派な美術館とか、あと人々もとてもご親切で本当に素晴らしいなあと思いました。美観地区に暮らす人にとっては、大変であるとともに、やっぱり誇りではないのかなと思うんですね。多くの方が守って育てていらっしゃるんじゃないのかなと、本当にこれって地域力が発揮されている所だなと思って見させてもらいました。でもやっぱり最初は「ここは大切だ」とか「守って行こうね」とか誰かが気づかれて声を上げられて皆さんが守られてきたんじゃないかなと思うんです。

で、あともう一つ美観地区と同様に、ああ倉敷って素晴らしいなあと思っていたことが、実はあります。倉敷に来てからこのことについて色々な方に聞くんですけど、あまりご存じ無いんですね。それは全国で38パーセントの設置率なんですけど倉敷市には2つもあるんです。

何かおわかりでしょうか、多分おわかりにならないと思いますが、それは院内学級なんです。入院中の子どもたちの学びの場、病院の中にある教室のことです。友達との触れ合いの場であり、生きる力を与えてくれる場です。本当に、これが知られていないということは残念なことなんです。以前私が小学校の先生をしていた時に受け持ちの子どもが大病を患いまして長期入院をしておりました。今はあるんですけども、当時私がいた米子市には、院内学級がありませんで、検査や診察以外は否が応でも一日中病室で過ごしておりました。友達と一緒に勉強したいなあとか遊んだりしたいなあとかそういった子ども

として当たり前なのがいが叶う院内学級があったらどんなにいいかなあと考えておりました。中には「入院中なんだから勉強の事はもういいんじゃない」と言われる人もいらっしゃるんですけど、重い病にひたすら24時間向き合うというのは中々大変なんですね。私はちょっと、する自信がないです。ましてや子どもたちは難しいことなんですね。そんな病気の子どもたちにとって救いの場の院内学級が倉敷市内には2か所もある。本当に子どもたちの学びに真剣な土地柄なんだなとうれしく思いました。ただ数か月、中には1年以上と長期間入院する子どもがいる一方で、昨今では入院期間の短期化が進んでおまして、ただ退院はしたけれど病気のために元の学校に戻れない子どもが増えてきています。院内学級では先生や友達と遊んでいたけれども、今は家で一人というそういう子どもが増えているんです。実は岡山市で設立されたNPOのポケットサポートさんというのがあるんだけど、院内学級の子ども達やそういった家庭にいる病気の子どもたちの学習支援をしようという活動をされていまして、私も最近知ってそれに入れてもらったんですけども。結局教育を受ける権利というのはどの子にもありますよね。病気の子どもにももちろんありますし、不登校の子ですとか、経済的に学びたくても学べない子どもにももちろんあります。今までは学校だけが学びの場だったと思うのですけれども、これからは、学校以外でもそういった学びたいという子どもたちを支えるような地域の力が倉敷のほうでも広がって行ったらいいなと思います。もう子育てと教育は切り離せないと思いますので、考えていただきたいなと思います。

市長

はい、ありがとうございました。今、倉敷の大きな特色の一つとして、医療とそれから教育の事についてお話をさせていただきました。倉敷が全国の中で、この美観地区以外、あるいは鷲羽山以外で、非常に注目されているのはやはり医療が充実しているということだと思います。この近くでは倉敷中央病院また川崎医大がありまして、院内学級とかですね非常に取り組みをしていただいているという事で、本当に38%しかないというのは、私も、すいません、知らなかったんですけども、取り組みが進んでいるというのは大切なことだと思っておりますし、またそういうサポートがあるよという事をもっとPRというのはなんですけど、多くの方に知っていただくというのが一つ必要だと思いますし、今Iさん言われた、退院して出てこられてから、すぐにまた溶け込めるような取り組みをもっと進めないといけないなと思いました。私が教育委員会から聞いているのは、長期入院している子どもさんのところにも例えば学級の便りとかを送って、今何が行われているかというようなことをしっかりお知らせするようにという事を聞いているんですが、さっきのNPO法人さんの活動の事は存じてなかったもので、いろいろ勉強させていただいて教育の方にも反映させていければと思います。どうもありがとうございました。

参加者Jさん

2点ちょっとお願いします。NPO連塾の者です。住まいは児島です。1点目は先日、市民活動推進課で社会課題解決のワークショップがございまして、その中の空き家のテーマを私が選んだんですが、今全国的に倉敷のみならず空き家の問題が一番大きいと思います。まあ近辺ではNPO空き家トラスト、児島ではジーンズストリート、玉島でもいろいろやっていますが、先日の会議ではマイナス面をみなさん言われまして、特に防犯、草

とか環境,犬,倒壊,それらは危険物,いわゆるマイナス要因の結論が多かったんですが,私が消化不良だったのが,私が平素活動で考えているプラス面が,現実問題で所有者が居座っているんですけど,例えば1つの町内会,自治会であれば,顔の見える関係に,平素一緒に生活しとった訳ですよ。それが何らかの理由で,息子さんが東京にとか,本人が介護施設に入ったとか,いろんな諸要因で空き家になつとると思うんです。それをうまく活用するのが大事なんじゃないかと。ただ体質的な問題がありますから,そういう活用できる住宅であれば,例えば今切実な問題が認知症ですね,そういった所を認知症介護に使うとか,コンバージョンしてコミュニティ会とか居場所づくりとか,塾,寺子屋とか,いろんな選択肢が出来ると思うんですね。その人材というのが地域におるわけです。皆さん方です。それで認知症介護の専門的な知識を,例えば具体的には,シルバー人材センターに介護というのがないでしょう。そういう中で人材を育成してですね,倉敷市が出前授業とかと言う格好で地域へ行っていただいて,今地域に元気な意欲的な高齢者が(市長:たくさんいらっしゃいますねえ)あの,高齢者と言うのは好きではないんですが「高齢者」の「高」が幸せの「幸齢者」がいると思うんです。幸齢者を活用するという事が医療面,いろいろの面で元気をもらえるわけですね。だからそういう人を活用して,選択肢の一つですけど,みんなで支えあうというシステム作りをやってもらいたい。

それから2点は,これは美観地区のあれですけど,私この間日本女性会議のボランティアをやらしていただいたんですけど,その時にですね,市民会館から分科会の会場に行くときに美観地区を通りますよね。その時に私ふと思ったのが,「倉敷川」という歌がありますね,原田悠里さん,観光大使でしょう。なぜあのすばらしい歌を,倉敷川の歌詞がものすごく良いわけです。私も個人的には口ずさみますけど,あれを,先ほどのFさんの静かな環境も大事でしょうけど,メリハリをつけてメロディを観光案内所から流すとかしたら,五感を刺激して素晴らしい雰囲気づくりになるんじゃないかと私は考えておるんですが,その2点です。

市長

はい,ありがとうございます。空き家の方ですね,今言ってくくださったように,空き家自身の問題と,認知症の方,それから高齢者の方との関係という事があると思います。それで空き家対策という事ですね,市の議会の方が先導して条例をつくられて,そして空き家で,人が住まわれる分と,本当に倒れそうな分とございまして,両方ともありますので,その倒れそうな分については国の方も法律を作って少し取り掛かりをされているようになってきてますので,市も協力してその所有者の方に何とかしてもらえるように働きかけるような一歩が出来ているっていうのが一つと,それから,まだ活用できる空き家についてですね,例えばその家族の理解をいただいて,例えばそこが地域のサロンにならないかとか・・・,今認知症の方の割合も高くなってきておりまして,非常に課題になってきています。ですので,認知症の方のサポートを地域で見守り,というんですかね。それをしていけるような仕組みを何か作っていけないかと,今市役所の保健福祉局の方で検討をしているところでございます。国ではオレンジプランという認知症の方の対応策を作っているんですが,それを実際に行なっていくのは我々市町村という事になりますので,しっかり取り組みをしていきたいと思っております。まあすぐにこれが出来ずという事はまだ申し上げられないんですけど,今言っていた点は市としても大きなポイントだと

思っております。

参加者Jさん

それとちょっと先ほど言い忘れておったんですが、法律、いろいろコンバージョンすることによっていろいろな現行法がありますよね、その規制緩和をね、(市長：国に求めているという事ですね。)それはなぜかと言うと、地域の町内とか団体、自治会、そういう人たちが主役でやるんだという前提条件で規制緩和をしてあげべきだと私は思うんです。そういうことを身近で解決していくことが大事じゃないかと思います。

市長

なるほど、ありがとうございます。

参加者Kさん

もうみなさんご存知かと思いますが、明日30日からフランスのパリでCOP21という(市長：環境のですね)環境の会議が開かれます。ですから私は環境問題と地域活性化をテーマとして発言させていただきます。COP21は2020年以降の枠組みを、地球温暖化を産業革命以降2倍以上にさせないという枠組みを作る、歴史的な会議、将来の地球の運命を決める会議とも言われています。私は今日この町の地域力である太陽光などの自然エネルギー、それから人的資源である私たち人、地元企業が持つ技術力を活用して地球温暖化の被害を最小限にとどめるとともに地球活性化にこれをつなげていくという事をぜひ要望したいと思います。多くの利害関係者が共同して、倉敷市を低炭素社会に転換していけるよう、そのための理念とかルール作りが必要だという風に思っているんですね。そういった意味では地元住民、企業、地元の金融機関などが主体となって倉敷市を低炭素社会に向けての活動を進めるために、先ほど条例のお話がありましたが、ぜひ「自然エネルギー条例」を作っていただきたいと要望したいと思います。この条例がなぜ大切かといいますと、一つは地域のエネルギーは地域のものだということを宣言することになると思います。さらに地域内循環に配慮した活用を図っていただくとか、地域に根差した主体が地域の発展につながりを活用するとか、あと持続性のある活用に努めて他者への影響を十分配慮する、こういった理念だとかルールを定めているエネルギー条例だと思います。今すでに倉敷市は中核市ですので、クール倉敷アクションプランと言うのがありますね。でもこの計画は、こういった理念を示したものではないと思います。条例があるという事は環境問題に積極的であるということ为先々変わられた後でも、倉敷市の自然エネルギーの施策が進められていくことを担保していく、市民にとっては大きな財産という事になると思います。全国で見ると結構東京の企業が地域社会に配慮無く、地域での開発をして自然エネルギーを奪われているという例は現在でもいくつも伺ってます。条例があれば、県外の大資本が倉敷市に参入した際にでも、地域貢献に配慮したものになるという事だと思います。

近年こういった条例は結構全国で広がってきています。自然エネルギーを導入するための理念を定めて、行政、事業者、それから市民が相互に協力して自然エネルギーを積極的に進めるという事は地球温暖化の防止につながるだけでなく、持続可能なまちづくりの推進に繋がっていくものだと思います。そうするとお金も地域の中で回りますので当然東

京へ流れていくわけではないので、地域力がさらにアップすると思います。ヨーロッパではこういった意識、ルールというのは定着しています。こういった条例の元でワークショップとか地球温暖化問題セミナーの開催などの場づくり、活動の元となる人づくり、それからルール作りを行政が担っていただきたいと要望したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

市長

どうもありがとうございました。あの、自然エネルギー条例は、今現状で検討している状況ではないんですが、倉敷市では太陽光発電をはじめとして、ここ最近で言えば水素のエネルギーの話が新聞に出たりしていると思うんですが、水島コンビナートは日本でも有数の水素を発生させることができるコンビナートなんで、水素と酸素が結びつけば水になるという、究極のエネルギーだと思しますので、そういったものも長期的な倉敷の環境政策の中に位置づけていきたいなと思っております。それで、条例をすぐ作れるかどうかは検討はまだしていないんですが、趣旨としては環境最先端都市、まあもともとの倉敷市の環境状況、それから今取り組んでいくという思いも込めてクール暮らしアクションプランを作っておりますので、今後とも環境に、最先端のものも含めて取り組んでいくと、そういう心づもりでおりますのでがんばっていききたいと思っております。

参加者Lさん

今、3か月の男の子を子育て中です。子育て中とか、仕事で来れない方とか大勢いらっしゃると思いますので、その辺のお話をさせていただければいいかなと思います。市長さんおっしゃったように、本当に子育て支援に関してはすごく豊かな所だと思います。他県から来たんですけど、他県から来た人が言うぐらい評価できる。市の制度もそうですし、地域の方々がたくさん参加して下さってるというのは、本当に大きな地域力ではないかと思っております。加えて、新たな地域力を作っていくとするなら、今月岡山市の指定都市での市長会シンポジウムで扱われた問題ですけど、働き方の改革による地方創生。これはこれからキーワードになっていくのではないかなと思っておりましたので、ちょっと取り上げてみました。私の解釈で大変恐縮ですけど、女性の働き方ではなくて、男性を含めた働き方を見直し変えていく、多様な人材が長時間勤務なく働いていくということが、地域として、社会保障制度の財源確保だったりとか、地域経済の維持活性化、少子化対策等の強い地域をつくる原動力になるのではないかと、言うお話だったと思います。で、個人レベルにそれをお話を落としてみようと思います。私自身育休が明けた後ですね、どのように仕事と子育てを両立していくか、という意味で、本当に大変頭を抱えております。大変残業の多い職場で働いております。旦那もそうですけど不況の影響も手伝って、このように共働き、長時間勤務、介護もしくは子育てによる時間的制約を抱えているこのような家庭が大変多いと思います。介護でもですね、それならパートで働けばいいじゃないか、時短勤務が選べるじゃないか、その制度さえあればいいじゃないか。今、子どもの貧困率は6人に1人とされています。片親で、2人に1人です。子どもの貧困が社会問題化している中、そんなに高水準だと、もう他人事じゃないですね。で、介護も今社会問題化していると思いますが、施設待機者52万人だそうです。どうしても介護における貧困の問題も、もう時間の問題で社会問題化してくるんじゃないかなと思います。女性の問題に聞こえがちなん

ですけど、今問題が大きくなっているのは、団塊ジュニア世代、男性の管理職の介護の問題、とても出てきているみたいです。何がしたいかと言うと、女性だけの問題ではなく、男女直面している問題であって、男女ともに向き合っていかなければいけない問題なのかなと、今感じています。どうしても働き方と言うと、個人だったりとか、企業の問題に聞こえがちなんですけど、地域として、戦略として取り組んでいくということが、子育て・介護がしやすいまちであり、働きやすいまちでそれが住みやすい。今倉敷が、より豊かで魅力的な街になっていくのではないかな、そのような地域力、ブランド力という考え方もあるのではないかなと、今子育て中の視点から思って、今日来させてもらいました。

市長

今、子育てまた介護などについてお話をいただきまして。多分ワークライフバランスとか、その辺りのことではないかと思いますが、子育てに関しては、もちろん出産、お母さん、しかし子どもさんが生まれまして、育てるときに本当にお父さんとお母さんの協力がなかったら、進まない訳ですので、市もこれからいろんな政策をとる中で、例えば男性の育児休暇の取得をもっと進めて。やっぱりどうしても男性の育児休業は少ないですから、短期間でもいいですから男性の方もとっていただきやすいような雰囲気、市としても作っていくようなことをやりたいと思っています。また今、介護離職のお話をされましたが、国も地元の加藤勝信大臣が担当で介護離職が少なくなるようにと行うことで取り組んでいってほしいと思いますので、市としても女性だけ男性だけ、どちらかだけにいろんな課題のしかからないような方向に。勿論市だけではなかなかできないと思いますが、国や県とも協力して頑張っていきたいと思っています。子育てしやすいまちということで言っていたいて、大変うれしく思っています。ありがとうございます。

参加者 M さん

羽島から来た者です。さっき、自然エネルギーの市の条例を作って環境を良くしていこう、ということに続けて私の生活の周りでしていただけて、いい倉敷を作っていただきたいなと思って、発言させていただきます。ほんとにCO₂がどんどん増えて、もう23と気温が上がっていくとね、この今の天候異変がですね、これはもう目に見えているんだと言われています。で、私たちの仲間が昨日から東京から飛び立って、そしてフランスで協議に参加する状態ですが、日本の目標が非常に低いと言って、事前にもう叩かれておりますけど、そんな中で私の住むこの倉敷はね、ずっと進めていただけるっていうか、私たちの力で進めていきたいなと思って今日は発言させていただきます。特に自然エネルギーは、太陽光発電は倉敷には適しているんです。それで今のところ、家庭にはね、8%の屋根につくことになり、市の助成金もね、今年もちゃんと出ております。そして毎年3千件位の物件がね、屋根に乗ってきました。公共の施設、企業の屋根、商店・会社の屋根にはほんとに少ないんです。これがちゃんと発電所にならない限り、市の全体の自然エネルギーを地産地消というわけにはいかないと思う。ドイツでもデンマークでも、見るとね、やっぱり公共の所、そして市民の力でこの発電所を作って、地域からCO₂の削減に、皆さんのお金も使って、知恵も使って行政がそれを保証していく。そんなふうにしてね、本当に20%、30%の自然エネルギーが現実、稼働しているんですね。どうぞ倉敷もね、もっと早くできるのは公共の施設です。保育園、公民館、図書館ね。すべて中学校、高等

学校まで、その屋根をすると、非常に大きな発電所ができます。どうぞ市長さんね、思い切ってこのことをね、COP21に合わせてね、考えていこうじゃありませんか。地域力に一つ、お金のことは市民にご相談いただいて、市民発電所を考えていただいたら、私たち今2号機の発電所を作りました。私の家にも10キロ近くの発電が載って、30キロモーターを付けて、電気自動車で今走っております。非常に経済効果がよるしく、10年たったら元が取れます。そういうふう環境を良くして、それで緑のまちをつくりましょう。並木が切られて駐車場が増えて、ほんとに緑が減った倉敷を見ると悲しいです。

市長

太陽光発電、市の方でも引き続き積極的に進めていきたいと思っています。その中で公共施設のお話をいただきました。今の所、新しく建設する市の公共施設では、建築が結構重い、大きいものになりますので、重さに耐えられるか良く測定してやっているんですけど原則として、新しく建てる建物については晴れの国ということもありますので、積極的に導入していきたいと思っています。その他の設備につきまして、第一につきましては、荷重とかのところ結構ありますし。まあ一方で、今三菱化学さんとかが重たい分じゃないのもこれから開発されるということもうかがっておりますので、いろんな可能性も検討していきたいと思っています。本当に市民の皆さんがですね、発電をしていただいているというのは、大変ご尽力をいただいております。

参加者Nさん

市長にお願いしたいことをお渡ししてますんで。あとでそれに回答いただけたらと思います。)私、倉敷の町内会の会長をしております。よろしく願いいたします。いろんなことで市役所には助けていただいて、ありがたいなと思っています。地域力ということの中で6つぐらいのことで、市長にラブレターを渡してますので、よろしく願いいたします。その中で、一番困っていることは犬猫のフンです。美和にはですね、第一公園と第二公園があるんですが、美和には野良犬がいないんです。でも朝起きたら、大きなお土産が置いてあることが。しかも各家庭の庭に置いてある市の条例が出来ているのも知っていますけれど、糞尿を何とかしていただきたい。猫の方は、私保健所へ何遍も行って話をしますが、全然取り合ってもらえないというのが現状です。猫は動物愛護法があって、捕まえると虐待になるというような話が出てくるんです。犬は狂犬病予防法があるから、これは捕まえて帰れますよと言うんですけど、法律と言うのは人間が生活するのに適するために法律を作ってるんだと思う。確かに猫をかわいがるのも必要だと思います。朝起きたらですね、自分とこの玄関前にお土産があったりするんです。それからプランターの中におしっこをされてにおうんですね。こないだも北九州市で6年で87%の犬とか猫の殺処分がなくなったということが出てましたけど、譲渡推進をしたりすることによって、猫がよいように生活できるというんですけど、そういうことをすることなしにできません。それだったら、そんな人をそんなところに置いとく必要はないわけですよ。できる人をそこに変えていただきたいと思えますし、本当に我々が困ってるし、いろんなところから来られてお土産があっちこっち転がってる。第一公園には砂場があるんですけど、そこを掘り寄ったら猫のお土産が出てくるんです。そういうところには、お母さん方に僕が一生懸命頼んで、美和の第一公園と第二公園を、東小学校の隣にある何とかいう公園は結構行かれ

るんですけど、一生懸命掃除したりしてる中で、なんで連れて行ってくれんのかというので話をするんですけど、そういうことの中で掃除をしてても、無数なお土産がいっぱい出てくるんです。その中で本当に人間が生活するために確かに大切な猫かもしれませんけどその辺のことをひとつ考えていただけたらなと思います。それであと6つほど書いてますんで、一つよろしくお願ひしたいと思ひますし、それには町内外なので書いてませんけど、商店街ですね。道が今、アスファルトで舗装されているんです。それを前はタイルを貼られていたんですけど、市の方が来られて、それはきちっとしますと言うて。それは去年のことだと思ひんですけど、言われましてけど、全然進んでないんです。ですから、美観地区へ行かれる方の、見えるところをきちっとしていただきたいなと思ひます。

市長

はい、ありがとうございます。もう時間も過ぎておりますので、後で拝見します。

参加者0さん

この間19歳になったばかりです。若いので、皆さんのようなハイレベルなことが言えないですけど、生活している中で思っていることを述べさせていただきたいと思ひます。大学生で、倉敷駅まで自宅から自転車で走って、電車に乗って通っているんですけど、岡山市とか、高松市を通るんですけど、自転車道の整備が少ないのと、大高小学校の前に3車線の大きな道路があるじゃないですか。あそこに自転車道を作っただいて、今日もそこを通ってきたんですけど、段差多かたりとか、雨が降ったりすると、水たまりが多くできるような環境なので、お金の面とか大変だと思ひんですけど、生活していく中で不便に感じることも多いので、その辺をよろしくお願ひしたいのと、もう一つ、皆さん商店街のことをたくさんおっしゃられてたんですけど、僕が生まれた時にもイオンとかそういう商業施設がいっぱいある中で生活してきたので、買い物はそちらですることが多かったんですけど、高松の方の大学に通うようになって商店街とかよく行くようになったんですけど、市長もご存じだと思ひんですけど、特殊な試みをされてるじゃないですか。で、そういうのを見ていたら、やっぱり倉敷の商店街と比較した時に、あぁいいなあと思ひし、倉敷でもこんな商店街だったら。せっかく今日美観地区についていろいろいいお話をされてたと思ひんですけど、そことつながったらもっと倉敷が盛り上がるんじゃないかなとか、若い方も来て下さるのかと思ひるので、お考へいただけたら嬉しいなと思ひます。

市長

はい、どうもありがとうございます。自分が毎日通学されている中でご意見をいただきまして、ありがとうございます。自転車道、または歩道の整備は徐々に、区域ごとに行っているんで、なかなか全部がパツとはできないところもあるんですが、これからみなさんは車ばかりじゃない社会に向かっていくと思ひますので、大切だと思ひておりますし、また、商店街の活性化、例えば商店街さんもアーケードを撤去したりとか、いろいろ検討して、市も一緒になって行ったりしておりますが、高松みたいになかなかパツとはいかないと思ひんですけど、いろんな取り組みを徐々にしていきたいと思ひますので、ご意見ありがとうございます。

参加者 P さん

真庭市で、新聞が3日も4日もたまってね、お亡くなりになった。こりゃいかんと言うんで、窓を割って入ったらお亡くなりになっていた。その家には200万の現金と貯金通帳に200万、トータルで400万あった。これはえらいこっちゃと言うんで、中電さんが本人に、顔を見てはっきりと伝えて、お宅は未納になっているから止めましたよと。そう言うてから止めるようにしてもらわんと、いけんのじゃないかなという気がします。私も民生委員させてもらって30年たって・・・それに似たことは私の担当地区にもあったんですけど、それはそういうことにならずに済んだんですけど。何か似たようなことが、これからも起きるかもしれん。認知症とか。それに犬や猫でもそういうふうに命を大事にするんだから、もうちょっと何かいい方法はないんかなと。失礼しました。

市長

さっきもお話が出ました、日常の方、特に見守りですね、これにもっと力を入れていきたいと考えておりますので。はい、ありがとうございました。

参加者 Q さん

今日は、ここに来る前に観光客の女性の方、山陰から来られたという方に会って、道がさっぱりわからんと言われてましたけど、どこを歩いていいかわからんと。いっぱい店があったのにありませんと、倉敷のこれからの課題かなと思います。市長が伊東市長になってから64回目のふれあいトーク、お話ができるというのは素晴らしいと思います。で、文芸春秋、全国の素晴らしい女性100人の中に伊東市長の名前がありました。こういう素晴らしい女性が倉敷の女性になっているんですから、倉敷はとっても活力のある素晴らしい街になると思います。

市長

はい、ありがとうございました。私もますます頑張りますけれど、本当は、市民の皆さんと一緒に頑張ってもらわないとまちがよくなるので。それが一番だと思いますので。エールをいただきまして、ありがとうございました。時間が超過して、すみませんでした。以上で、市民ふれあいトークを終了とさせていただきます。ありがとうございました。